







Fidelio

サウンドバー FB1



1	<mark>安全上のご注意</mark> 本機のお手入れ 環境に対する配慮 適合宣言 ヘルプとサポート	3 5 5 5 5
2	サウンドバーについて 同梱品 メインユニット コネクター リモコン リモコンの準備 配置 壁面取付	6 6 7 8 9 10
3	 接続 Dolby Atmos[®] HDMI ソケットへの接続 光ソケットへの接続 IR パススルーケーブルの接続 電源への接続 Wi-Fi との接続 (ワイヤレス操作) サウンドバーを Philips Play-Fi 対応 テレビに接続する 	12 12 13 13 14 14 14
4	サウンドバーの使い方 電源のオンとオフ モードの選択 音量調整 Dolby Atmos サウンドを楽しむ サウンドの選択 セットアップメニュー Bluetooth デバイスからの再生 外部デバイスで音楽を再生する USB からオーディオを再生する Spotify で音楽を再生する 工場出荷時設定へリセットする	 18 18 18 19 19 21 23 24 25 25 25

26

5 製品仕様

 6
 故障診断
 28

 商標
 30

 保証書
 31

1 安全上のご注意

本製品をご使用になる前に、本取扱説明書を よく読み、正しくお使いください。 本取扱説明書に従わずに損害が生じた 場合、保証は適用されません。

下記の注意事項を守らないと感電、火災、 ショートの原因となります。

- *電圧が異なる場合は、絶対に本製品をコン セントに接続しない。
 - 本製品をコンセントに接続する前に、
 本製品の背面または底面に記載の電圧
 数値が現地電圧と一致しているかご確認ください。
- *分解や改造をしない。
 - 火災、感電、けが、または故障の原因になります。
- *本機を過度の熱に当てない。
- *本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。
- *本製品をぬらさない、ぬれた手で触れない。 ・感電やけがの原因になります。
- *本機を布団や布などで覆わない。
 - •発熱や発火の原因になります。
- *本製品の通気口、開口部などに水や異物を 入れない。
 - 水や異物が入ると火災や感電の原因に なります。
- * アルコール、アンモニア、ベンジン、または 研磨剤を含むいかなる洗浄剤を使用しない でください。
 - 製品のお手入れには、マイクロファイバーの布をご使用ください。
- *本機を医療機器の近くで使用しない。
 - 機器が発する電波により心臓ペースメーカ ーや除細動器などの医療機器に影響を与 えるおそれがあります。
- *高精度な制御や微弱な制御や微弱な信号 を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。

- *幼児やペットが触れる場所に置かない。
- *メーカー純正品または推奨していない電源 アダプターや充電器をしない。
 - 火災や怪我などの原因となるおそれがあります。
- *破損した状態で使用したり、改造したりしな い。
 - ・破損した状態のバッテリーや改造したバッ テリーを使用すると、火災や破裂の原因と なり、怪我をするおそれがあります。
 - •修理が必要な際は、必ず当社カスタマーサ ービスにお問い合わせください。
- *リモコンの電池の液漏れや異臭がする場合 は直ちに使用を中止する。
- *異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づ いたら使用しない。
 - 異常に気づいたら、すぐに使用を中止し、
 当社カスタマーサービスに修理を依頼してください。
- *一般ごみ(可燃ゴミ)と一緒に廃棄しない。
- *日本国内で使用する場合は、電源電圧は 100Vで使用する。
- *以下の場所で使用、放置、保管しない。 オーバーヒートの恐れがあります
 - 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、 また、極端に温度が低いところ。
 - ストーブなどの熱源の近く。
 - 車内。
- *付属の電源ケーブルは本製品専用になり ます。他の製品には使用できません。
- *本製品を狭い空間に設置しない。製品や 家財道具に損害を与えたり、お客様が怪我 をするリスクがあります。
 - 通気のために、周囲に10cm以上のスペースを確保してください。
 - カーテンやオーディオラック、その他の物体 が本製品の通気口をふさぐことのないよう、ご確認ください。
- *壁に設置する場合、設置の注意事項に従っ てください。落下による怪我、事故、製品およ び家財道具の破損につながる場合があり ます。

- *壁に設置する場合は、専門の業者様へご 依頼ください。
 - •付属の金具以外を使用しないでください。
 - ・壁の強度、構造、素材などにより、付属のネ ジでは対応できない場合がございます。 専門業者にご相談の上ご設置ください。
 - 電源コードが金具や壁などに挟まれないよ うご注意ください。
 - 落下の危険がないか、定期的に安全確認 を行ってください。
- *本体の上に物を載せたり、ぶら下げたりしな いでください。
- *リモコンの電池の使用についてご注意くだ さい。
 - •子供やペットが触れる場所に保管しない でください。飲み込むと死亡のリスクがあ ります。
 - •新しい電池と使用した電池、または種類の 違う電池を使用しないでください。事故の 原因となります。
 - ・
 にった方法で
 市池を
 取り
 外す
 と、
 爆発の
 危険があります。
 - 電池を使い切った場合や、リモコンを 長期間使用しない場合は、電池を取り外し てください。
 - ・
 部池を廃棄する場合は、
 お住まいの地域
 のルールに従って廃棄してください。
- *電池の液が目に入ったときは目をこすらな い
 - 目をこすらず、すぐに水道水などのキレイ な水で充分に洗い、医者の診察を受けて ください。液体が体や服についた時もヤ ケドの原因になりますので、すぐにキレイ な水で充分に洗い流してください。皮膚に 違和感がる場合は、医者の診察を受けて ください。
- *電池の液が漏れたときは素手で液を触らな い
- *誤って電池を飲み込んだ場合は、直ちに 治療を受けてください。
- *電池を取り換えた後は、電池の蓋が完全に 固定されていることをご確認ください。
- バッテリーを、極端に低い気圧にさらさな いでください。

- ・
 電池の
 が
 完全
 に
 固定
 で
 きない
 場合
 は
 使用を中止し、子供やペットの届かない 場所に置き、カスタマーサービスへご連絡 ください。
- *火気に近づけたり、火の中に入れない。
- *本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。

*水にぬらさない。



この製品は二重絶縁を施したCLASS II 機器で、保護接地は備えていません。

► AC電圧

取扱説明書に記載された電源以外は □□□ 取扱証りョーー。 使用しないでください。

雷波について

この無線機器は2.4GHz 帯を使用します。変調方 式としてFH-SS変調方式 を採用し、与干渉距離は 10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジな どの産業・科学・医療用機器のほか、第二世 代小電力データ通信システム、移動体識別用 の構内無線局(免許を要する無線局)および 特定小電力無線局(免許を要しない無線局) 並びにアマチュア無線局(免許を要する無線 局)が運用されています。

- 1. この機器を使用する前に、近くで第二世代 小電力データ通信システム、移動体識別用 の構内無線局および特定小電力無線局 並びにアマチュア無線局が運用されてい ないことを確認してください。
- 2. 万一、この機器から別の移動体識別用の 構内無線局に対して有害な電波干渉の事 例が発生した場合には、速やかに本製品 の電源をお切りください。
- 3. その他、この機器から第二世代小電力デ ータ通信システム、移動体識別用の特定 小電力無線局またはアマチュア無線局に 対して有害な電波干渉の事例が発生し た場合やご不明な点がございましたら当 社カスタマーサービスまでお問い合わせく ださい。

本機のお手入れ

清掃にはマイクロファイバーの布を使用して ください。

環境に対する配慮

使用済み製品と電池の廃棄

(入) 本製品は、リサイクルや再利用が
 (入) 可能な高品質の材料と部品を使用
 して設計・製造されています。

● 製品に記載のこの記号は、本製品
 ● が欧州指令2012/19/EUに準拠して
 ● いることを意味します。

この記号は、本製品に、欧州指令 2013/56/EUで規定されている、 家庭用ごみと一緒に廃棄できない 電池が内蔵されていることを意味 します。

お近くの電気電子機器・電池回収場所について把握しておいてください。お住まいの地域の規則に従って、絶対に本製品や電池を家庭用ごみと一緒に廃棄しないでください。使用済み製品と電池を適切な方法で廃棄することによって、環境や人体に対する悪影響を防止することができます。

使い捨て電池の取外し

使い捨て電池の取外し方法については、 電池の入れ方のセクションをご覧ください。

		AT	BE	BG	HR	CY	CZ	DK
		EE	FI	FR	DE	EL	HU	IE
		IT	LV	LT	LU	MT	NL	PL
		PT	RO	SK	SI	ES	SE	UK(NI)
	UK							

JA 5G Wi-Fi デバイスの場合

5150~5350 MHzの周波数帯で 動作するデバイスは、同一チャンネル のモバイル衛星システムに対する有害 な干渉を軽減するため、屋内でのみ 使用できます。 FR Pour un appareil Wi-Fi 5G les dispositifs fonctionnant dans

la bande 5150-5350 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

適合宣言

本装置は欧州連合の無線通信妨害要件に 準拠しています。

TP Vision Europe B.V. では、本製品が 2014/53/EUのRED 指令および UK Radio Equipment Regulations SI 2017 No 1206 のその他の関連規定に準拠していることを 宣言いたします。適合宣言は www.philips.com/support でご覧になれ ます。

ヘルプとサポート

詳しいオンラインサポートについては、 www.philips.com/support にアクセスして 以下を実行してください:

- 取扱説明書とクイックスタートガイドをダ ウンロードする
- ビデオチュートリアル (一部機種のみ)を 見る
- よくある質問 (FAQ) で回答を見つける
- メールで質問を送る
- サポート担当者とチャットする。
 サイトの指示に従って、言語を選択し、製品
 機種番号を入力してください。

もしくは、お住まいの国におけるカスタマーケ ア担当者にご連絡いただくこともできます。 ご連絡の前に、製品のモデル番号とシリアル 番号(製品の背面または底面に記載)をメモし ておいてください。 2 サウンドバーに ついて

同梱品

•	サウンドバー	x 1
•	IR パススルーケーブル	x 1
•	マイク	x 1
•	リモコン (単4電池 x 2)	x 1
•	壁面取付キット (ブラケット x2 / ブラケットネジ x2 / 壁面取付ネジ x2 / ドエルピン x2)	x 1
•	取扱説明書 / 保証書	x 1
•	電源コード	x 1
•	壁面取付テンプレート	x 1

壁面取付テンプレート



電源コード

壁面取付テンプレ

- 本取扱説明書の画像、イラスト、図は . 参考のみにとどめてください。実際の 製品と異なることがあります。
- 付属の電源ケーブルは本製品専用にな ります。他の製品には使用できません。

メインユニット

本セクションでは、メインユニットの概要を 説明します。



- (1) (音量) ボタン 音量を下げます。
- (2) + (音量) ボタン 音量を上げます。
- (3) ▶Ⅱ (再生/一時停止) ボタン 再生を起動、一時停止、再開します。
- (4) ♪ (ソース)/Bluetooth ペアリング ボタン
 - サウンドバーの入力ソースを選択し ます。
 - ●BT モードで3秒間長押しすると、 現在 Bluetooth 接続されているデバ イスが切断され、Bluetooth ペアリ ングモードになります。

⑤ (スタンバイ-オン) ボタン

電源の 状態	動作	機能
オン		ソースの状態に従い ます
セミ 待機	じ <i>ボタ</i> ンを1回 押す	 Wi-Fi はまだオンの 状態になっています。 Play-Fi およ び Airplay2 Chromecast、Spotify Connect、Works with Alexa に対応 します。
エコ 待機	也を 2秒以上 長押し する	 Wi-Fi がオフになります。 低消費電力モードになります。 再起動するまで、多少長時間かかります。

- ④ リモコンセンサー / ディスプレイパネル
- ⑦ オーディオライトリング (白)

ハイトチャンネル (Dolby Atmos など) のオーディオ出力が検出されると、オ ーディオライトリングが 10 秒間 点灯してから消灯します。オーディオ ライトリングをオンまたはオフにし たい場合は、セットアップメニューの 「LIGHT (ライト)」で設定できます。

- ⑧ 電源LED指示ライト
 エコ待機 (ネットワーク切断) 時に白 で点灯します。
- ⑨ Wi-Fi LED指示ライト (黄色)

LED の状態 状態

ゆっくり点滅	Wi-Fi アクセスポイント (AP) モード
2回点滅	Wi-Fi 保護セットアップ (WPS) モード
常時点灯	接続 / ペアリング成功

コネクター

本セクションでは、サウンドバーで使用 可能なコネクターの概要を説明します。



- ① 🤶 (Wi-Fi セットアップ) ボタン
 - 本機の Wi-Fi セットアップを起動します。
 - •3秒間長押しすると、WPS モードが 起動します。
 - •8秒間長押しすると、AP モードが 起動します。
- Mic in (マイク入力) 自動ルームキャリブレーションのマイ ク入力です。
- ③ IR out (赤外線出力)
 IR パススルーケーブルコネクター です。
- (4) USB
 - USB ストレージデバイスに接続して オーディオメディアを再生します。
 - 本機のソフトウェアをアップグレー ドします。
- ⑤ Optical in (光入力)
 テレビやデジタル機器の光オーディオ
 出力に接続します。
- (6) HDMI out (HDMI 出力) (eARC/ARC) ソケット テレビの HDMI (eARC/ARC) 入力に 接続します。

- ⑦ HDMI in (HDMI 入力) ソケット DVD プレーヤー、Blu-ray Disc[™] プレ ーヤー、ゲーム機などの HDMI ソース デバイスに接続します。
- AC~ (交流入力) ソケット 電源を接続します。
- (9) 壁面ブラケットスロット

リモコン

本セクションでは、リモコンの概要を 説明します。



① (スタンバイ-オン) ボタン

電源の 状態	動作	機能
オン		ソースの状態に従います
セミ 待機	り <i>ボタ</i> ンを 1回 押す	 Wi-Fi はまだオンの 状態になっています。 Play-Fi およ び Airplay2 Chromecast、Spotify Connect、Works with Alexa に対応します。
エコ 待機	0 秒 上 押 し す る	 Wi-Fiがオフになります。 低消費電力モードになります。 再起動するまで、多少長時間かかります。

- ② �(ソース)
 - サウンドバーの入力ソースを選択します。
 - BT モードで3秒間長押しすると、
 現在 Bluetooth 接続されているデバイスが切断され、Bluetooth ペアリングモードになります。
- ③ ナビゲーションボタン
 - ◀/▶(左/右)
 - USB/BT/Play-Fi モードで、前または 次の曲にスキップします。
 - 左右に移動してメニューを選択 します。
 - ▲/▼(上/下)
 - 上下に移動してメニューを選択 します。
 - •音量を増減します。
 - ○(センター)
 - USB/BT/Play-Fi モードで再生を 起動、一時停止、再開します。
 - ●選択を確定します。
- ④ 口(メニュー)
 セットアップメニューに進みます。
- (5) L EQ (イコライザー)

イコライザー (EQ) エフェクトを 選択します。(Movie/Music/Voice/ Stadium/Custom) (映画/音楽/音声/ スタジアム/カスタム)

6 Delby Atmos

Dolby Atmos のハイトエフェクトレ ベルを選択します。

⑦ 葦(サウンド)

サウンドエンハンスメント設定です。 (SURR/DRC/IMAX/NEURALX/DTS DLG/BASS/TREB/SYNC/CALIBRATE)。

- ⑧ ←(終了)
 - メニューを終了します。
 - 10秒間長押しすると、サウンドバーのWi-Fiモジュールが工場出荷時の設定にリセットされます。

④ ◀×(ミュート) ミュートしたり、ミュートを解除し ます。

リモコンの準備

- 付属のリモコンで、本機を遠隔操作できます。
- リモコンを6mの有効距離内で操作しても、本機とリモコンの間に障害物があると、正常に動作しないことがあります。
- 赤外線を発生する他の製品の近くで リモコンを操作したり、本機の近くで他の 赤外線リモコンを使用すると、正常に 動作しないことがあります。その逆に、 他の製品も正常に動作しないことがあ ります。

リモコンの電池交換方法

スライドして電池コンパートメントのカバーを 外し、単4電池2本(1.5V)を正しい極性に 入れ、電池コンパートメントのカバーをスライド して元の位置に戻します。

 電池の (+) 極と (-) 極が、電池コンパート メントに表示されている (+) 極と (-) 極と 一致していることを確認してください。



電池に関する注意

- 電池のプラス「⊕」極とマイナス「⊖」極が 正しく挿入されていることを確認してく ださい。
- 同じ形式の電池を使用してください。
 異なる種類の電池を混用しないでください。
- 充電式電池も非充電式電池も使用でき ます。ラベルの注意事項を参照してくだ さい。
- 電池カバーや電池を取り外す際には、爪 を傷めないように注意してください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに物をぶつけて衝撃を与えない でください。
- リモコンに、水などの液体をかけないで ください。
- 濡れた物の上にリモコンを置かないでく ださい。
- 直射日光や強い熱源の下にリモコンを 置かないでください。
- リモコンを長時間使用しない場合、腐食や電池の液漏れによって
 怪我や器物破損や火災が発生する恐れがあるため、電池を取り外してください。
- 指定以外の電池を使用しないでくだ さい。
- 新しい電池と古い電池を混ぜないでく ださい。
- 充電式電池であることが確認できない 場合、充電しないでください。

配置

サウンドバーを下図のように設置することをお すすめしております。



壁面取付

| 注意

- 壁面取付が不適切な場合、事故や怪我や器物破損 が発生することがあります。
- 壁面取付の前に、壁面が、サウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 壁面取付の前に、サウンドバーの底面からゴム足を 取り外す必要はありません。ゴム足を取り外すと、後 で元に戻すことができなくなります。
- サウンドバーを取り付ける壁の種類に応じて、適切な 長さと直径のネジを使用してください。
- 本機背部にUSB設備が接続されているかどうかを 確認してください。USB設備の接続で壁への取り付 けができない、あるいは取り付けに影響がある場合 は、USB設備のサイズを変更する必要がございます。

ネジの長さ/直径





- 怪我や傷のないよう、説明書の取り付け手順に従い、本機を床/壁に取り付けてください。
- 推奨される壁面取付高さ:1.5メートル以下。
- 本機を取り付ける前は、テレビを先に取り付けてください。本機はテレビから50mm/2.0インチ離れている場所に設置することをおすすめします。



- 1 図1のように、壁に平行な穴二つをあけます(壁の種類に応じて直径3-8mmの穴を選択)。
 - → 穴と穴の間は74mm/29.2インチの 距離をあけます。
 - ➡ 付属の壁掛け紙を使用して穴の位置 を決めることできます。
- 2 穴にドエルピンを入れ、ネジを固定 します。
 - → 壁面とネジの頭の間に 3.5 ~
 4 mm の隙間を残してください。
- 3 本機に壁面ブラケット(2個)を取り付け ます。
- 4 固定ネジにサウンドバーを吊します。

3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビな どのデバイスに接続し、セットアップする方法 を説明します。



- 型番や供給電源の定格については、本機の背面また は底面にある銘板をご覧ください。
- 接続する前や接続を変更する前に、機器が電源コン セントから外してあることを確認してください。

Dolby Atmos®

Dolby Atmos を使用すると、リッチで明瞭で パワフルな Dolby サウンドによる、3次元的ス ペースの没入リスニング体験がお楽しみにな れます。 詳細については

dolby.com/technologies/dolby-atmos を ご覧ください。

Dolby Atmos[®]の使用方法

Dolby Atmos[®] は HDMI モードで使用でき ます。接続の詳細については「HDMI の接続」 をご覧ください。

- Dolby AtmosをHDMIで使用するには テレビがHDMI eARC /ARCをサポートし ている必要があります。
- 2 接続されている外部デバイス(Blu-ray DVDプレーヤーやテレビなど)のデジタル オーディオ出力のビットストリームに「No Encoding」が選択されていることを確認 してください。
- 3 Dolby Atmos / Dolby Digital /PCM フォーマットの場合、DOLBY ATMOS / DOLBY AUDIO / PCM AUDIO /DOLBY SURROUNDが表示されます。



- サウンドバーがHDMI 2.0ケーブルで接続されている 場合のみ、Dolby Atmosを体験できます。
- ほかの接続方法(デジタル光ケーブルなど)でもサウンドバーは作動しますが、すべての Dolby 機能に対応することはできません。このため、完全に Dolby に対応できるように、HDMIで接続するようお勧めします。

HDMI ソケットへの接続

一部の4K HDR テレビでは、HDMI 入力また は画像設定を、HDR コンテンツの受信に設定 する必要があります。HDR ディスプレイの詳し いセットアップについては、お使いのテレビの 取扱説明書を参照してください。

オプション 1:

HDMI eARC/ARC (エンハンスオーディオ リターンチャンネル)

本機はeARC/ARC (エンハンス オーディオリタ ーンチャンネル)のあるHDMIに対応してい ます。お使いのテレビがHDMI eARC/ARCに 対応している場合、HDMI ケーブルで本機と テレビを接続して音声出力できます。



- 1 お使いのテレビで HDMI-CEC 動作を 起動してください。詳細については、お 使いのテレビの取扱説明書を参照してく ださい。
 - テレビによって、HDMI eARC/ARC コネクターの表記が異なる場合がご ざいます。詳細については、お使い のテレビの取扱説明書を参照してく ださい。

 高速 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの HDMI out (eARC/ARC) - To TV コネクターを、テレビの HDMI ARC コネクターに接続します。

二注意

- お使いのテレビが HDMI-CEC および ARC 機能に 対応している必要があります。HDMI-CEC と ARC が オンに設定されている必要があります。
- HDMI-CECとARCの設定方法は、テレビによって異なることがあります。ARC機能の詳細については、お使いのテレビの取扱説明書を参照してください。
- 必ず ARC 機能に対応した HDMI ケーブルをお使い ください。

オプション 2:標準 HDMI

お使いのテレビが HDMI ARC に対応してい ない場合、標準 HDMI ケーブルでサウンドバ ーとテレビを接続してください。



- HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの HDMI in ソケットを、外部デバイス (ゲーム機、DVD プレイヤー、Blu-rayプレ イヤーなど)に接続します。
- 2 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバ ーの HDMI out (eARC/ARC) ソケット を、テレビの HDMI in ソケットに接続し ます。

光ソケットへの接続

 光ケーブルを使用して、サウンドバーの OPTICAL ソケット、テレビなどのデバイス の OPTICAL OUT ソケット接続します。



 デジタル光ソケットには、SPDIF また は SPDIF OUT のラベルが付いてい ることがあります。

______ IR パススルーケーブルの接続

サウンドバーがテレビの受信部を遮ると、テレ ビのリモコン操作に影響を与える可能性あり ます。付属の IRパススルーケーブルでサウンド バーと接続し、リモコンをサウンドバーに向け て操作してテレビをコントロールできます。



- 1 IRパススルーケーブルの2.5mm側を本機のIR OUTに接続してください。
- 2 IRパススルーケーブルのもう片側をテレビのセンサー位置に近づけさせてください。 テレビのセンサー位置に関しては、テレビの説明書をご参照ください。



- IRパススルーケーブルをご使用の前に、テレビのリモコン受信部が完全に遮られていることをご確認ください。
- テレビのリモコン受信部が遮られていなく正常に 受信できる場合は、IRパススルーケーブルを外してく ださい。

電源への接続



- 製品破損のリスクがあります!電源電圧が、本機の 背面または底面に記載されている電圧と一致してい ることを確認してください。
- 感電の恐れがあります!電源コードを外す際には、プラ グを持って引き抜いてください。絶対にケーブルを引 っ張らないでください。
- AC電源コードを接続する前に、他の接続がすべて 完了していることを確認してください。

電源ケーブルを本機のACソケットに接続し、 次に電源ソケットに接続します。



Wi-Fi との接続 (ワイヤレス 操作)

(iOS および Android バージョン)

本機とスマートフォンやタブレット (iPad、iPhone、iPod touch、Android スマ ートフォンなど)を同じ Wi-Fi ネットワークに 接続すると、DTS Play-fi を搭載した Philips Sound アプリからサウンドバーをコントロール してオーディオファイルを聴くことができます。 DTS Play-Fiを搭載した Philips Sound アプリをダウンロードして、スマートフォン やタブレットにインストールします。



 ルーターの電源が入っていて正常に 動作していることを確認してください。

- 注意

- デバイスのバージョンにより、操作画面や操作方法が 異なる場合があります。
- スマートフォンまたはタブレットを、サウンドバーと同じ Wi-Fi ネットワークに接続します。





→ お知らせ音が2回鳴るとボタンを放します。



4 Wi-Fiインジケーターランプが素早い 点滅からゆっくり点滅に変わります。ゆっ くり点滅になると、Wi-Fiセットアップモー ドになります。



5 Philips Soundアプリを起動し、指示に従 いWi-Fiに接続します。



- Ver Tey Article construction

 Your Tey Article construction

 Brack Tey Article constru
- 6 Wi-Fi接続成功後、Wi-Fi指示ライトが 点灯に変わり、スマホやタブレットでサウ ンドバーをコントロールできます。
- 7 接続後に、デバイス名を変更することができます。提案された名前から選択するか、名前リストの最後にある「カスタム名」を選択してご自分の好きな名前を作成します。変更しない場合、デフォルトのままになります。

8 接続後に、本機でソフトウェアをアップデ ートすることができます。初めてセットアッ プする際には、最新ソフトウェアにアップ グレードしてください。ソフトウェアのアッ プグレードには数分かかります。その間は 電源を抜いたり、電源をオフにしたり、 Wi-Fi切断をしないでください。

上注意

- 接続後に、本機でソフトウェアをアップデートすることができます。初回セットアップの後でアップグレードが必要です。アップグレードしない場合、一部の機能が利用できないことがあります。
- 最初のセットアップが失敗した場合、お知らせ音が 2回鳴るまで本機背部のWi-Fiボタンを8秒間長押し します。Wi-Fiランプがゆっくり点滅に変わるとリセッ トされたサインになるので、アプリを再起動して再度 お試しください。
- 別のネットワークに切り替えたい場合、もう一度接続 をセットアップする必要があります。サウンドバーの
 (Wi-Fi) ボタンを8秒間長押しすると、Wi-Fi 接続 がリセットされます。
- 設定が失敗した場合は、Philips Soundアプリを 再起動して、再度お試しください。

AirPlay のセットアップ

AirPlay を使用して、iOS デバイス (iOS7 以降) とサウンドバーの Wi-Fi 接続をセットアップ します。

- iOSデバイス:[設定] > [Wi-Fi] を選択 し、ホームネットワーク [Play-Fi Device (xxxxxx)] を選択します。
 - → Wi-Fiの設定に進みます。約5秒後 に Play-Fi デバイス名が表示され ます。



- → AirPlay セットアップで Play-Fi デバイ スを選択します。
- → セットアップが完了したら「Done」を 押します。



 → Wi-Fi接続成功後、Wi-Fiランプが 点滅から点灯状態に変わります。



2 Philips Soundアプリに戻り、デバイスを 変更します。



3 接続後に、デバイス名を変更することができます。提案された名前から選択するか、名前リストの最後にある「カスタム名」を選択してご自分の好きな名前を作成します。変更しない場合、デフォルトのままになります。



WPS モード

ルーターに Wi-Fi Protected Setup (WPS)が 搭載されている場合は、パスワードを入力せ ずに接続をセットアップできます。

- ルーターの WPS ボタンを押します。
 通常、このボタンには、この WPS ロゴが 付いています。



 Wi-Fi 接続成功後、Wi-Fi ランプ は点滅 から点灯に変わります。

- 注意

- WPS が標準装備されていないルーターもあります。WPS が装備されていないルーターでは、標準Wi-Fi セットアップを使用してください。

サウンドバーを Philips Play-Fi 対応テレビに接続 する

- 1 インターネットに接続されている DTS Play-Fi TV の電源を入れます。
 - → テレビの音声はミュートされています。
- 2 テレビの「設定」メニューに進みます。

 → 設定 > サウンド > DTS Play-Fi

サラウンドサウンドのセットアップ

画面上のセットアップ指示に従う。



テレビの音声設定

テレビの音声を、ワイヤレスでスピーカーにスト リーミングすることもできます。画面上のセット アップ指示に従ってください。





4 サウンドバーの 使い方

このセクションでは、サウンドバーを使用して、接続したデバイスからオーディオを再生する方法について説明します。

ご使用の前に

- 説明書に従い、予め必要な接続を行って ください。
- サウンドバーの入力ソースを正しく選択してください。

電源のオンとオフ

 初めて電源コンセントに接続すると、
 本機は待機モードに入り、指示ライトが 点灯します。

電源の 状態	操作	状態
電源オン		ソースの状態に従い ます
セミ 待機	 ッ ン を 1回 押 す	 Wi-Fi はまだオンの 状態になっています。 Play-Fi およ び Airplay2 Chromecast、Spotify Connect、Works with Alexa に対応し ます。
エコ 待機	しを 2秒以上 長押し する	 Wi-Fiがオフになります。 低消費電力モードになります。 再起動するまで、多少長時間かかります。

モードの選択

本体またはリモコンの うボタンを押して、 Optical、HDMI eARC/ARC、BT、USBモードを 切替できます。

➡ 選択されたモードがディスプレイに 表示されます。

表示	状態
USB	USB
BT NO BT	BT (Bluetooth) ● BT接続済み ● BT未接続
OPT	光
E-ARC ARC	HDMI eARC HDMI ARC
HIMI	HDMI in

🔆 注意

 Play-Fiはオプションソースではありません。Play-Fiは アプリで直接制御する必要があります。

音量調整

+/- (音量) ボタンを押して、音量を増減します。

- ■×を押してミュートにします。
- 再度 **<**×を押するとミュートを解除 します。

Dolby Atmos サウンドを楽 しむ

▶●Dolby Atmos ボタンを押して、環境に応じ てお好きなハイトサラウンドエフェクトレベルを 選択します。

- ATMOS 00: エフェクトレベル 小
- ATMOS 01: エフェクトレベル やや小
- ATMOS 02: エフェクトレベル やや大
- ATMOS 03: エフェクトレベル 大

___ 注意

 HDMI 以外の接続方法 (USB、Bluetooth、OPTICAL、AUDIO IN など)では、 高さ方向のサラウンドエフェクトに制約があります。

サウンドの選択

このセクションでは、ビデオや音楽を再生する 際に理想的なサウンドを選択する方法につい て説明します。

イコライザー(EQ)エフェクトの選択

リモコンの ライザー(MOVIE、MUSIC、 VOICE、STADIUM、CUSTOM)を切り替え ます。

- MOVIE: サラウンド効果を楽しめます。
 映画鑑賞に最適です。
- MUSIC: 2チャンネルまたはマルチチャン ネルのステレオサウンドが再生されます。 音楽鑑賞に適しています。
- VOICE: 人の声が明瞭で聞き取りやすく なるサウンドエフェクトが再生されます。
- STADIUM: あたかもスタジアムでスポー ツ観戦をしているような臨場感を演出し ます。
- CUSTOM: 好みに応じてサウンドをカス タマイズできます。
 - → デフォルトでは、EQ は MOVIE に 設定されています。

サウンドエンハンスメント設定

1 空を押して、SURR/DRC/IMAX/ NEURALX/DTS DLG/BASS/TREB/ SYNC/CALIBRATEを切り替えます。 SURR / DRC / IMAX / NEURALX / DTS DLG / BASS / TREB / SYNC / CALIBRATE。

^{2 &}lt;/▶を押して設定を変更します。

表示	説明
SURR	オーディオのUPMIX/ STANDARD(標準)/ AI SURR(AIサラウンド)を切り 替える
DRE XX	ダイナミックレンジコントロ ール
IMAXX	IMAXモード自動またはオフ
NEURALX	Neural:X オンまたはオフ
DTSDLGX	会話レベルを調整する
BASXX	低音レベルを調整する
TREXX	高音レベルを調整する
SYNEXX	音声遅延を設定する
CALIBRATE	自動キャリブレーションを 設定する (マイク入力時にのみ表示)

サラウンド

サラウンドオーディオオプションを選択します。

- UPMIX: 7.1.2ch以下の音源 (5.1.2chなど)を7.1.2chへアップミ ックスし、自然なサラウンドへ 展開します。
- STANDARD (標準):元々のサウン ドです。
- AI SURR (AI サラウンド): ホーム オーディオ用 Dolby Atmos メデ ィアインテリジェンス機能を使用 して、ボーカルエンハンスメント やサラウンドエフェクトを駆動し ます。

→ デフォルトでは、オーディオアップミッ クスは 7.1.2 に設定されています。



 ディスプレイには、以下の各スピーカー構成に応じた スピーカーチャンネルが表示されます。
 7.1.2:サウンドバー
 7.1.4:サウンドバー+サラウンドスピーカー
 7.1.4:サウンドバー+サラウンドスピーカー+サブウ
 -ファー
 7.2.2:サウンドバー+サブウーファーx2
 7.2.4:サウンドバー+サラウンドスピーカー+サブウ
 -ファーx2

ダイナミックレンジコントロール (DRC)

Dolby Digital トラックにダイナミックレンジコ ントロールが適用できます。

- ON (オン):ダイナミックレンジの最適化
- OFF (オフ): ダイナミックレンジ 調整をオフにする
- AUTO (自動): ダイナミックレン ジの自動調整
- → デフォルトでは DRC モードは AUTO に設定されています。

- 注意

• USB/BT/Play-Fi モードでは DRC は使用できません。

IMAX

IMAX モードを自動またはオフに設定します。

- AUTO (自動): IMAX モードをオ ンに設定します
- OFF (オフ): IMAX モードをオフに 設定します
- → デフォルトでは、IMAX モードは AUTO に設定されています。

Neural:X

DTS:X[®] テクノロジーは、仮想マルチチャ ンネルの仮想サラウンドエフェクトで、 臨場感あふれるオーディオ音場を作ります。

- ON (オン): Neural:X モードを オンに設定します
- OFF (オフ): Neural:X モードを オフに設定します
- → デフォルトでは、Neural:X モードは ON に設定されています。

低音/高音【BASS/TREBLE】

本機の低い周波数(低音)と高い周波数 (高音)の設定を変更します。

- BAS -5 ∼ BAS +5
- TRE -5 ∼ TRE +5
- → デフォルトでは、低音/高音は0に 設定されています。

[Dialogue]

会話モードで、音調バランスを調整して、映画 やテレビ番組やポッドキャストの会話や声が 明瞭に聞こえるようにできます。

- DLG 0 \sim DLG 6
- ・ デフォルトでは、会話モードは0に 設定されています。

★ 注意

• DTS形式の内容を再生する時のみ調整できます。

SYNC (同期)

音声遅延を設定します。

ビデオ画像の処理には、音声信号の処理よ りも時間がかかることがあります。これは 「遅延」と呼ばれます。音声遅延はこの遅 延を補正するための機能です。

- S 00 \sim S 200
- → デフォルトでは、音声遅延は00に 設定されています。

キャリブレーション

自動キャリブレーションのセットアップ です。



 自動キャリブレーションしたことない場合、マイク を挿し込んで自動キャリブレーションに設定する と、CALIBRATE-PRESS PLAYが表示されます。

自動キャリブレーションをONにする

- 1 サウンドバーの電源を入れます。
- FB1 背面の MIC IN にマイクを差し込みます。
 - → CALIBRATE PRESS PLAY が表示 されます



マイクを上に向け、画面を向いて座っている視聴者の現上に起置します。(低い位置に置 いたり、スピーカーのすぐ近くに置いたりしないでください、また、ソファのヘッドレ ストの上に逆さと伝言かないでください(布地が音波を吸収して、測定が不正確になる 可能性があります))。

- 3 ▶Ⅱを押してキャリブレーションを開始す ると、設定に応じてテストトーンが再生さ れます。
 - → キャリブレーションが完了すると、
 「DONE REMOVE MIC」と表示
 されます。

- 4 完全自動キャリブレーションセットアップ プロセスが完了すると、メニューから、キャ リブレーションされたパラメータをON (有効)/OFF(無効)に設定できます。
 - ON (オン):前回キャリブレーションされたパラメータが適用されます
 - OFF (オフ): キャリブレーションされたパラメータはすべて無効になります。前回のパラメータが記憶されています。

自動キャリブレーションをオフにする

下記2WAYで自動キャリブレーションをオフに できます。

- MIC inからマイクを抜きます。
- マイクが差しこんだまま、リモコン上の (終了)ボタンを押します。各チャンネルの テストトーンの再生が停止します。

セットアップメニュー

高度な設定でより良いリスニング体験できます。

- リモコンで
 や (メニュー) ボタンを押して、メニューを開きます。
- リモコンの▼/▲(下/上)でコンテンツを 選択します。
- **3** (Enter) を押して選択を確定します。
- 4 カーソルを ◀/▶ (左/右) に動かして 各設定の値を変更します。
- **5** (Enter) を押して選択を確定します。
 - 前の画面に戻ったり設定を終了する には、 (終了)を押します。
 - 10秒以内にボタンを押さない場合、 メニューが自動的に終了します。

表示	説明
FLXX	左フロントスピーカー
FRXX	右フロントスピーカー
SW XX	サブウーファー
$\Box T \times \times$	センタースピーカー
SL XX	左サイドスピーカー
SR XX	右サイドスピーカー
DIM	ディスプレイとライトリングの 明るさを設定する
]]SP XX	ディスプレイを自動的に消す
LIGHT	ATMOS ライトリングコント ロール
STNBY XX	自動スタンバイオン/オフ
BI PAIR	自動待機ON/OFF (BTモードのみ)
5UB PAIR	サブウーファー(別売り)のペ アリングの開始(この機能 は日本ではご利用いただ けません)
UPGRAJE	USB によるファームウェア のアップグレード

スピーカーレベルの調整

- 左フロント : FL -5~FL +5
- 右フロント : FR -5 ~ FR +5
- サブウーファー : SW-5 ~ SW +5
- センター : CT -5 ~ CT +5
- 左サイド : SL-5~SL+5
- 右サイド : SR -5~SR +5
- → デフォルトでは、スピーカーレベルは 00 に設定されています。

DIM (ディマー)

ディスプレイの輝度を調整します。

- DIM HIGH, DIM MID, DIM LOW (高輝度、中輝度、低輝度)
- → デフォルトではディマーは DIM MID に設定されています。

ディスプレイ

10秒間操作されなかった場合に、ディスプレイを自動的に消灯するよう設定します (Wi-Fi LED インジケーターを除く)。

- ON (オン):設定をオンにする (10秒後自動消灯)
- OFF (オフ): 設定をオフにする (常時点灯)
- → デフォルトではディスプレイは ON に
 設定されています。

ライト

- オーディオライトリングコントロール。
 - AUTO (自動): Dolby Atmos フォ ーマットが検出されると、オーデ ィオライトリングが 10 秒間点灯 してから消灯します。
 - ON (オン): Dolby Atmos フォーマットが検出されると、音出力と共にオーディオライトリングが常時点灯になります。
 - OFF (オフ): オーディオライトリン グをオフに設定します。
 - → デフォルトでは、ライトは AUTO に 設定されています。

- 注意

• DIM の設定に応じて輝度が変化します。

待機

テレビなどの外部設備を切断したり、電源 を切ると(または、USB、BTの再生を一時 停止にした後)、約15分後に、本機は待機 モードに切り替わります。

- STNBY IN 15M: 自動待機オン。
 15分後に自動待機になります。
- STNBY OFF: 自動待機オフ。
- → デフォルトではオフに設定されています。



- 本機の電源を完全に切るには、コンセントから電源 プラグを抜いてください。
- 使用しない時は、電源を完全にオフにすると省エネ になります。

Bluetooth ペアリング

Bluetooth ペアリングモードに入ります。

- サウンドバーを別の Bluetooth デバイ スに接続したい場合は、メニュー (BT PAIR) でペアリングを有効にし、現在 BT 接続されているデバイスを切断し て、Bluetooth ペアリングモードに進むこ とができます。
 - → ☆を押して「BT PAIR」を選択し、〇(Enter)を押して Bluetooth ペアリングに入ります。
- 「Bluetoothデバイスからの再生」の STEP2-3の指示に従い、Bluetoothデバ イスをペアリングします。
- ☆ 注意

BT入力の場合のみ、「BT PAIR」が表示されます。

USB によるファームウェアのアップグレ ード

www.philips.com/support から最新のファ ームウェアを確認してください。お使いのモデ ルを検索し、「Software and drivers (ソフト ウェアとドライバー)」をクリックします。

ダウンロードしたファームウェアをUSBフラッシ ュドライブに保存し、本機に挿し込みます。

- → ☆を押し、「UPGRADE」 >
 「PLAY TO START」を選択します
- → 次に、〇(Enter)を押して確定します。
- → アップグレードが完了し、再起動 します。

Bluetooth デバイスからの 再生

Bluetoothデバイス (iPad、iPhone、iPod touch、Android スマートフォン、またはラップ トップ)とペアリングして、オーディオファイルを 再生します。

- 本機またはリモコンの ◆ボタンを繰り返 し押して、サウンドバーを Bluetooth モ ードに切り替えます。
 - → ディスプレイパネルに BT が表示されます。
- Bluetooth デバイスで Bluetooth を 起動し、「Philips Fidelio FB1」を 検索して選択し、接続を開始します (Bluetooth の起動方法については、お 使いの Bluetooth デバイスの取扱 説明書を参照してください)。
- **3** サウンドバーから音声プロンプトが聞こ えるまでお待ちください。
 - ➡ 接続が成功すると、ディスプレイパネ ルに CONNECTED が表示されます。
- **4** Bluetooth デバイスでオーディオファイル か音楽を選択して再生します。
 - 再生中に電話がかかってくると、 音楽の再生が停止します。通話が 終了すると、再生が再開されます。
 - AVRCP プロファイルをサポートする Bluetooth デバイスの場合、リモコン で ◀ / ▶を押すとトラックがスキップ し、Oボタンを押すと再生が一時 停止 / 再開します。

接続を切断して新しい Bluetooth デバイスとペアリングする

- Bluetoothモードで、☆ 設定→BT PAIR →○(ENTER)を押して、現在の接続を 切断してBluetoothペアリングモードに 入ります。
- もしくは、サウンドバーの●ボタンを3秒 間長押しして、現在接続されているBTデ バイスを切断し、Bluetoothペアリングモ ードに進みます。
 - ➡ ディスプレイに「PAIR」が点滅します。
- 2 P23の「Bluetoothデバイスからの再生」 のSTEP2-3の指示に従い、Bluetoothデ バイスとペアリングします。

금 注意

- 障害物のないオープンスペースでは、サウンドバーと Bluetooth デバイスとの最大通信範囲は約 10メートルです。
- 本機互換性のない Bluetooth デバイスもありますの でご注意ください。
- デバイスとサウンドバーの間に障害物(壁、デバイス を囲んでいる金属ケース、同じ周波数で動作する別 の機器)がある場合は再生に影響を与えることがご ざいます。

マルチポイントコントロール

本機はマルチポイント機能に対応し ており、2 台の Bluetooth デバイス (iPad、iPhone、iPod touch、Android ス マートフォン、ノートパソコンなど)を 同時に接続できます。

- サウンドバーに2台目のBluetoothデ バイスが接続されると、お知らせ音が鳴 ります。
- 2台目のBluetoothデバイスから音楽 再生されると、1台目のBluetoothデバイ スの再生が一時停止します。
- 着信があると、1 台目または 2 台目のデ バイスの音楽再生が停止します。

外部デバイスで音楽を再生 する

本機がテレビやオーディオデバイスと接続されていることを確認します。

- 本機またはリモコンの ◆ボタンを繰り返 し押して、Optical、HDMI ARC、HDMI in モードを選択します。
- 2 お使いのオーディオデバイスで、オーディオ を再生します。
- 3 音量 +/- ボタンを押して、音量を調整します。

オーディオ(略称)	表示
LPCM 2ch	PCM AUDIO
LPCM 5.1ch	PCM AUDIO
LPCM 7.1ch	PCM AUDIO
Dolby Digital	Dolby AUDIO
Dolby TrueHD	Dolby Surround
Dolby Digital Plus	Dolby Surround
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	Dolby Atmos
Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	Dolby Atmos
DTS	DTS
DTS Discrete Surround	DTS
DTS-ES 6.1 Matrix	DTS
DTS-ES 6.1 Discrete	DTS
DTS 96/24	DTS
DTS 96/24 ES Matrix	DTS
DTS Express	DTS
DTS-ES 8-Channel Discrete	DTS
DTS-HD High Resolution	DTS-HD
DTS-HD Master Audio	DTS-HD
DTS:X	DTS:X
DTS:X Master Audio	DTS:X



 本機はすべてのデジタルオーディオフォーマットをデ コードできない場合があります。この場合、本機はミュ ートになりますが故障ではありません。入力ソース(テ レビ、ゲーム機、DVDプレーヤーなど)のオーディオ設 定がPCM または HDMI 入力/HDMI ARC/光入力を 備えたDolby Digital に設定されていることを確認し てください。(オーディオ設定の詳細については、入力 ソースデバイスのマニュアルを参照してください)

USB からオーディオを再生 する

MP3 プレイヤーや USB フラッシュメモリなどの USB ストレージデバイスからの音楽もお楽しみになれます。

1 USB デバイスを挿入します。



- 2 本機またはリモコンの ◆ボタンを繰り返し押して、USBモードを選択します。
 - ➡ ディスプレイパネルに USB が表示されます。
- 3 再生中:

ボタン	動作
0	再生を起動、一時停止、再開します。
∢/▶	前または次の曲へスキップします。

- ヒント

- 一部のUSBが使用できない場合がございます。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、USB 多機能カードリー ダーを使用すると、USB ストレージデバイスは認識さ れないことがあります。
- ファイルの読み込み中は USB ストレージデバイスを 外さないでください。
- 本機は、メモリ量が32 GB以下のUSBデバイスをサポートします。
- 対応フォーマット:MP3、WAV、FLAC。
- 対応しているUSB:5V 500mah。

Spotify で音楽を再生する

スマートフォン、タブレット、コンピューター を、Spotifyのリモコンとして使用します。その 方法については、 spotify.com/connectをご覧ください。

工場出荷時設定へリセットす る

デバイスの設定を初期化する。

- サウンドバーの電源を入れ、+とーの
 2個のボタンを同時に8秒間長押しします。
 - ➡ ディスプレイに「RESET」が5秒間表示 されます。
 - → システム再起動中に、ディスプレイに 「REBOOT」が表示されます。

5 製品仕様

☐ 注意

• 仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

Bluetooth

Bluetoothプロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetooth のバージョン	V 5.0
Bluetooth 周波数範囲/ 送信電力 (EIRP)	2402 ~ 2480 MHz 5dBm 以下

サポートされるネットワーク

WiFi IEEE 802.1 1a/b/g/n/acワイヤレス 周波数帯(WiFi)/送信電力(EIRP)

2.4G Wi-Fi	2400~2483.5 MHz / 20dBm 以下
5G Wi-Fi	5150 ~ 5350 MHz / 20dBm 以下 5470 ~ 5725 MHz / 27dBm 以下

サウンドバー

電源	100~240 V交流 50/60Hz
RMS 出力電力 最大出力電力	310W 620W (1% THD)
消費電力	50 W
スタンバイ時の 消費電力	0.5 W以下
周波数応答	40Hz~20kHz
スピーカーのイン ピーダンス	8Ω
寸法 (幅x高さx奥行)	1200 x 73 x 125 mm
重量	7.2 kg
動作温度	0°C ~ 45°C

USB

USB ダイレクトバージ ョン 2.0 フルスピード			
USB	5V 500mA		
拡張子	コーデ ック	サンプルレ ート	ビットレ ート
	MPEG 1 Layer 1	$16\sim48~{ m kHz}$	32 ~ 448kbps
	MPEG 1 Layer 2	$16\sim48~\mathrm{kHz}$	$8\sim 384$ kbps
.mp3	MPEG 1 Layer 3	$16\sim48~\mathrm{kHz}$	$8 \sim 320$ kbps
	MPEG 2 / MPEG 2.5 Layer 1	$16\sim48~{ m kHz}$	$8\sim$ 256kbps
	MPEG 2 / MPEG 2.5 Layer 2	$16\sim48{ m kHz}$	8 ~ 160 kbps
	MPEG 2/ MPEG 2.5 Layer 3	$16\sim48{ m kHz}$	$8 \sim 160$ kbps
.wav	WAV	$16\sim48~\mathrm{kHz}$	最大 1536 kbps
.flac	FLAC	最大 48 kHz/ 16ビット	

リモコン

距離/角度	6 m/30°
電池タイプ	単4電池 (1.5V x 2)

対応のオーディオフォーマット

フォーマット	機能			
	HDMI 入力	HDMI eARC	HDMI ARC	OPTICAL
LPCM 2ch			\checkmark	\checkmark
LPCM 5.1ch	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
LPCM 7.1ch	\checkmark	\checkmark		
Dolby Digital	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
Dolby Digital Plus	\checkmark	\checkmark	\checkmark	
Dolby TrueHD	\checkmark	\checkmark		
Dolby MAT	\checkmark	\checkmark		
Dolby Atmos - Dolby Digital Plus	\checkmark	\checkmark	\checkmark	
Dolby Atmos - Dolby TrueHD	\checkmark	\checkmark		
Dolby Atmos - Dolby MAT	\checkmark	\checkmark		
DTS	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
DTS-ES Discrete 6.1	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
DTS-ES Matrix 6.1	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
DTS 96/24	\checkmark	\checkmark	\checkmark	\checkmark
DTS-HD High Resolution Audio	\checkmark	\checkmark		
DTS-HD Master Audio	\checkmark	\checkmark		
DTS-HD LBR	\checkmark	\checkmark		
DTS:X	\checkmark			

√:対応するフォーマット。 -- :対応しないフォーマット。

本機は下に記載されている Dolby 表示の条件に準拠しています。

入力信号 オーディオフォー マット		Dolby バー	フォーマット表示		
		チャライザー	Dolby Atmos ¹	Dolby Surround ¹	Dolby Audio
Dolby	エレンナルベーフ	オフ			\checkmark
Digital		オン			\checkmark
Dolby	オブジェクトベ ース	-	\checkmark		
Digital Plus		オフ			\checkmark
	オン		√		
Dolby	オブジェクトベ ース	-	\checkmark		
TrueHD	チャンネルベース	オフ			
		オン		-√	
	オブジェクトベ ース	-	\checkmark		
Dolby MAT	T .	オフ			
チャンネルヘース		オン		~	

6 故障診断

▲ 警告

感電の恐れがあります。本機のカバーを絶対に開かないでください。

保証対象外になりますので、ご自分では 修理なさらないでください。

ご使用中に問題が発生した場合は、まず 以下内容を確認してください。それでも 解決できない場合は、購入先に修理依頼 をしてください。

本体

本体のボタンが動作しません。

 電源を数分間切ってから再度お試しく ださい。

電源が入らない

- AC コードが確実に接続されている か、確認してください。
- コンセントに電気が流れていることを 確認してください。
- リモコンまたはサウンドバーのし(スタン バイ)ボタンを押して、サウンドバーの 電源を入れます。

サウンド

スピーカーから音が出ません。

- オーディオケーブルでサウンドバーとテレビまたは他のデバイスを接続します。下記場合は、別途オーディオケーブルを接続する必要はありません。
 - HDMI ARCケーブルでテレビとサウ ンドバーを接続している場合。
 - デバイスがサウンドバーのHDMI IN コネクターに接続されている場合。
- 入力ソースが正しく選択されているかご 確認ください。
- サウンドバーがミュートになっていないことを確認してください。

- 本機を工場設定にリセットします (「工場出荷時設定ヘリセットする」 を参考してください)。もしくは、
 本機の電源を完全に切ってから再起動 してください。
- WiFi接続状態に再生がフリーズしたり 音が出ない場合は、ネットワーク 状況を確認してください。

音が歪む、またはエコーが聴こえます。

 テレビの音声を再生する場合は、オー ディオ出力が本機に選択しているかを 確認してください。

音声とビデオが同期しません。

 ・
 を押して設定メニューに進み、
 「AV SYNC」を選択してオーディオをビ
 デオと同期させます。

Bluetooth

デバイスとペアリングできません。

- デバイスが本機に必要な互換プロフ アイルを対応しているか確認してくだ さい。
- デバイスのBluetooth機能がオンになっているか確認してください。
- 正しい方法で接続されているかご確認 ください。
- サウンドバーが既に別のBluetoothデ バイスとペアリング済み。ペアリング を解除してから再度お試しください。

ペアリング済みのBluetoothデバイスの音質 が悪い

 Bluetoothの受信状態が悪い。デバイ スをサウンドバーに近づけるか、デバ イスとサウンドバーの間に障害物がな いようにしてください。

Bluetoothデバイスから本機が検出されない

- お使いの Bluetooth デバイスの Bluetooth機能が起動していることを 確認します。
- 本機とお使いの Bluetooth デバイスを もう一度ペアリングします。

Wi-Fi

Wi-Fiに接続できない。

- ルーターのWLANネットワークは利用で きるような状況になっているかご確認く ださい。
- 本機をWi-Fiルーターに近づけてください。
- パスワードが正しく入力されていることを ご確認ください。
- WLAN 機能を確認するか、モデムと Wi-Fi ルーターを再起動してください。

Dolby Atmos

Dolby Atmos 効果が弱い。

 HDMI以外の接続方法では、高さ制限 のあるサラウンドエフェクトになります。 Dolby Atmos効果を充分発揮するに は、「Dolby Atmos」の部分をご覧くだ さい。

Play-Fi

アプリで Play-Fi 対応デバイスが検出できません。

 デバイスが Wi-Fi に接続されていること を確認してください。

Play-Fi で音楽を再生できません。

- サービスプロバイダーがサービスを終了している場合は、一部のサービスやコンテンツを利用できません。
- 初期セットアップで失敗した場合 は、Philips Soundアプリを閉じて再起動 してください。
- スピーカーがステレオ、またはサラウンド に設定されている場合は、アプリからス ピーカーの接続を切断してからご利用に なれます。

リモコンが動作しない

- 再生コントローボタンを押す前に、正しい ソースを選択してください。
- リモコンと本機を近づけてください。
- 電池は表示に従ってプラス極 / マイナス 極を正しくセットしてください。
- 電池を交換します。
- リモコンを本機正面のセンサーに向けて 操作してください。

15分後自動電源オフ機能(ERPII省エネ 基準に準拠)。

 本機の外部入力信号レベルが低すぎる 場合は、15分後に自動的に電源オフに なります。入力信号を正しく検出されるに は、音量を上げてください。

HDMIケーブルでテレビと接続しました が、サウンドが聞こえませんでした。特殊 な設定が必要なのでしょうか?

本体はHDMI-ARC端子のみに対応していま す。音がでない状況について、下記の対応の 確認をお願い致します。

- ご利用される製品(TV)の出力がHDMI-ARCに対応しているのか?
- ご利用されているHDMIケーブルが 規格になっているのか?ご確認をお願い 致します。
 ※「eARC対応」または「HDMI2.1対応」 「Ultra-High Speed」といった表記が 記載ある
- ③ ご利用されているTVの音声出力の設定 シアターやAVアンプなどに「HDMI接続」 や「光デジタル接続」をしても音が出ない 場合があります。 テレビ側の「デジタル音声出力」の設定 が「オート」、「ビットストリーム」で、シア ターやAVアンプから音が出ない場合に 「PCM」への設定に変更して、音が出る かの確認をしてください。
 - ・ 音声出力をPCMにするには、「デジタ ル音声出力」を「PCM」に設定してく ださい。

商標



DTS の特許については http://patents.dts.com をご覧く ださい。DTS, Inc. (アメリカ合衆国/日本/台湾に本社のあ る企業の場合) または DTS Licensing Limited (それ 以外の全企業の場合) のライセンスの下で製造されていま す。DTS, DTS Play-Fi、Play-Fi、DTS Play-Fi の口 ゴは、アメリカ合衆国およびその他の国における DTS, Inc. の登録商標または商標です。© 2021 DTS, Inc. 全著作権所有。

dts 🗶

DTS の特許については http://patents.dts.com をご覧く ださい。DTS, Inc. (アメリカ合衆国/日本/台湾に本社のあ る企業の場合) または DTS Licensing Limited (それ 以外の全企業の場合) のライセンスの下で製造されてい ます。DTS、DTS:X、DTS:X、のロゴは、アメリカ合衆国および その他の国における DTS, Inc. の登録商標または商標で す。© 2021 DTS, Inc. 全著作権所有。

IMAX Corporation のライセンスの下で製造されていま す。IMAX®は、アメリカ合衆国およびその他の国における IMAX Corporation の登録商標です。DTS の特許につい ては http://patents.dts.com をご覧ください。DTS, Inc. (アメリカ合衆国/日本/台湾に本社のある企業の場合)ま たは DTS Licensing Limited (それ以外の全企業の場合) のライセンスの下で製造されています。DTS、DTS のロゴは、 アメリカ合衆国およびその他の国における DTS, Inc. の 登録商標または商標です。© 2020 DTS, Inc. 全著作権 所有。



Wi-Fi CERTIFIED™ ロゴは Wi-Fi Alliance®の登録商標 です。



Google、Google Play、Chromecast built-in は Google LLC の商標です。Google Assistant が使用できない言語 や国もあります。



この AirPlay 2 対応スピーカーをコントロールするに は、iOS 11.4以降が必要です。「Works with Apple」バッ ジの使用とは、アクセサリが、そのバッジで識別されるテク ノロジーで動作するよう設計されており、アメリカ合衆国お よびその他の国で登録された Apply Inc.の商標で認定さ れていることを意味します。

Apple[®] および AirPlay[®] は、アメリカ合衆国およびその他 の国で登録された Apple Inc. の商標です。



Spotify ソフトウェアは、 www.spotify.com/connect/third-party-licenses に 記載のサードパーティライセンスで管理されています。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface (高精細マルチメディアインターフェイス)の各用語、HDMI トレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

COMPATIBLE WITH **Delivy** Vision

▶**● Dolby** Atmos

Dolby、Dolby Vision、Dolby Atmos、ダブル D 記号 は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録 商標です。Dolby Laboratories のライセンスの下で製造さ れています。未発表の極秘作品。著作権所有者 © 2012-2021 Dolby Laboratories.全著作権所有。

Bluetooth[®]

Bluetooth®のワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。MMD Hong Kong Holding Limited で はそのライセンスに基づいてこうしたマークを使用していま す。その他の商標および商標名は、各権利保有者の 所有物です。



Roku、Roku のロゴ、Roku TV、Roku TV Ready、Roku TV Ready のロゴは、Roku, Inc. の商標および/または登録 商標です。本製品は、アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、メキ シコ、ブラジルで Roku TV Ready に対応しています。国は 変更される場合があります。本製品が Roku TV Ready に 対応している国の最新リストについては、 rokutvready@roku.com までメールでお問い合わせく ださい。

保証書

保証書

品名	Philipsサウンドバー
品番	TAFB1/11
保証期間	お買い上げ日より12ヶ月間
対象部分	本体
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒
	お名前
-	電話番号
販売店	販売店名·住所·電話番号

カスタマーサービスについて

お困りの場合は、お電話や商品ページのお問い合わせ フォームでのお問い合わせを承っております。

鑫三海株式会社 〒590-0012 大阪府堺市堺区浅香山町3丁目9-11 電話番号:072-247-9283 FAX:072-247-9282

営業時間:AM10:00-12:00 PM13:00-17:00 (土・日・祝日・年末年始・弊社所定の定休日を除く)



仕様は予告なく変更されることがあります。最新アップデートとドキュメントについては、www.Philips.com/supportをご覧ください。 Philips た とびPhilips Child Embloryにと Konipklike Philips NV(の登録産標であ

PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であ り、ライセンスに基づいて使用されます。

本製品は、MMD Hong Kong Holding Limitedまたはその関連会社の責任の下 に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limitedが本製品に 関する保証を担当します。



TAFB1RE_UM_JA_V3.2_20231128